

⑧ 薬師堂の石幢 せきどう

(関市指定重要文化財 上之保船山)

薬師堂の前にひっそりと立っています。大きさは高さ 190cm、幅 45cm、石で造られています。石幢の源流は中国の唐の「きょうどう経幢」に求められますが、日本に入ってきた段階で、日本風にアレンジされて今の形になりました。薬師堂の石幢は重制といわれる形式のもので、六角形のかんぶ龕部には六地藏が彫られています。さお竿の部分には「于延寶八庚申九月吉日鳥口」(1680年)と銘があり、江戸時代前期に造られたことがわかります。中濃地域では最も古い石幢です。

(主要地方道美濃加茂和良線から上之保船山方面へ約 5km 上之保地域バス「寺下」下車、すぐ)



関の文化財探訪

その 5

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

⑨ 富士神社の鳥居

(関市指定重要文化財 上之保船山)

富士神社は丘陵の上であり、ふもとから石段を上がってくると真っ先に見えるのがこの鳥居です。硬質砂岩で造られていて、大きさは高さ 295cm、幅 335cm と小ぶりなものです。鳥居の上部の横木をかさぎ笠木といい、笠木の下部の横木をしまぎ島木といいます。この島木がある富士神社のような鳥居を明神鳥居みょうじんといいます。「元禄十二年己卯六月」(1699年)の銘があり、江戸時代中期に造られたことがわかっています。

(主要地方道美濃加茂和良線から上之保船山方面へ約 3km 上之保地域バス「太田」下車、南へ徒歩10分)

